

# サムライクラウド部会 活動報告及び活動計画

部会長  
野元 恒志

# 2018年度の部内発表・主な議題

## <発表>

- linuxプラットフォームから、powershellで、Office365への自動ログインの発表(ネットワークシステムズ 福原さん)
- FIDO2プロジェクトについて(WebAuthn、ブラウザによる多要素認証の未来、プロキューブ 中川路さん)
- Azure AD Connect : Pass-through Authentication ADFSなしでオンプレミスのADによるOffice365ログイン(プロキューブ 中川路さん)

## <議論>

- OpenNebulaでのシンプルクラウド
- ID、SSOサービス・プロダクトのセキュリティ実用性
- AnsibleTower
- AWS privatelink
- Dockerのボリューム管理

## 活動実績

サムライクラウド部会 月一回 全11回開催

# サムライクラウド2019年度の活動

- SAML、OpenSocialをベースとしたビジネス活用のための研究開発の続行
- MicroServiceの利用研究
- SAML、Oauthなどの認証基盤の具体的利用例や、サービスに関するの評価議論
- 将来の認証技術に関するの最新テクノロジー評価

# クラウドアプリケーション部会 活動報告及び活動計画

部会長  
尾鷲 彰一

# クラウドアプリケーション部会について

今やクラウドサービスの利用は個人レベルまで浸透してきております。例えば、Facebookや、Googleなど、数多くのクラウドサービスが展開されています。

昨今では、**クラウドの利用は、クラウドサービスとスマートデバイスや、他のハードウェアとの連携など、いわゆるIoT、AIへと発展しています。**

クラウドアプリケーション部会では、そういったクラウド関連の**最新の技術の調査や検証**から、実際に**アプリケーションを開発する**までを行い、そこで得たノウハウを参加メンバー各社、また会合での成果発表などを通し、NCWGに参加しているみなさん各社のサービスに活用できる**アウトプットを提供**していきます。

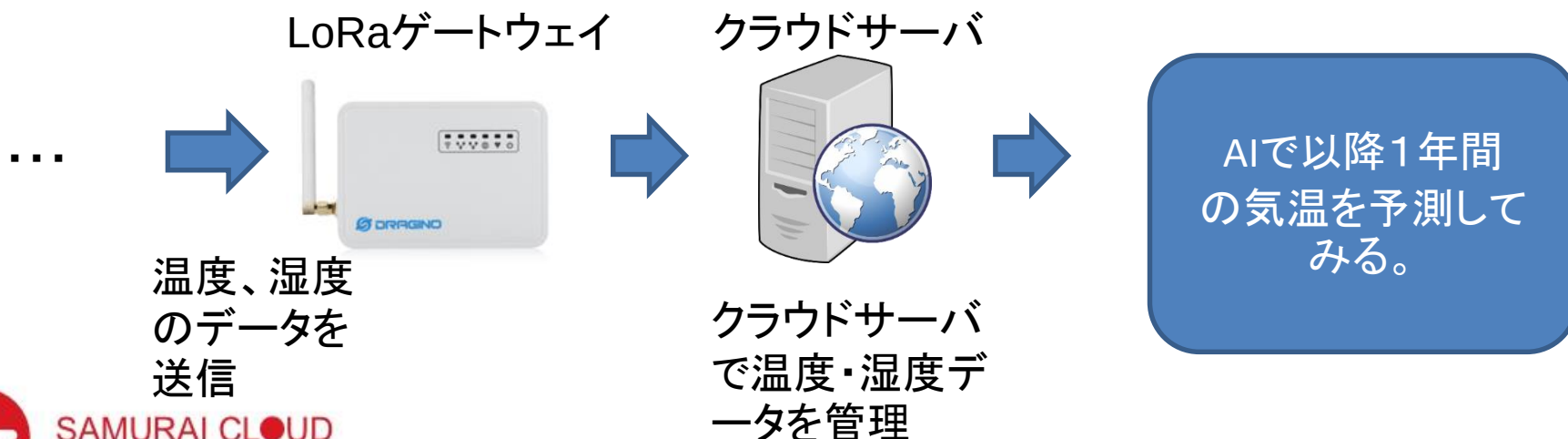
# クラウドアプリケーション部会 2018年度活動実績

<<テーマ>>

「IoTのデータをAIを利用して活用する」

- ①IoTデータとAI連携方法の調査、検証
- ②AIプラットフォームの調査、比較
- ③デモアプリケーションの開発   などを予定

活動計画 4回/年 予定



# クラウドアプリケーション部会 2018年度活動実績

スターティアさんに会場を提供いただき、予定通り以下、4回開催いたしました。

## 第15回 3月29日 AIについての認識合わせ

今期のテーマであるAIについて、今後の進め方について認識合わせをいたしました。

## 第16回 6月14日 AIを使って、プログラムを作ってみる①

AIについて、Sony社の「Neural Network Console」をベースに理解を深めました。

## 第17回 7月31日 AIを使って、プログラムを作ってみる②

実際にAIを使ってみました。なかなか難しく、あまり進捗しなかったもので、次回、「まとめ」の予定でしたが、もう少しみんなで触ってみることにしました。

## 第18回 10月30日 考察、課題等のまとめ(反省会)

AIを使うにあたっては、やはりビッグデータが無いと難しいという結論にいたり、次年度は、データを取得するところから、実際にフィールドで検証する方針です。

# クラウドアプリケーション部会 2019年度活動計画

## 【テーマ】

IoTを本気(マジ)で使ってみる！

## 【活動内容】

- ・実際にIoTをフィールドに設置し検証を実施する  
何をするかは未定です。例：雨量センサーなど  
現在、調整中です。

## 【活動回数】

- ・年4回予定

※4月、6月、9月、10月を予定しています。

別途、フィールド(関東圏)の視察に行く  
可能性があります。



# クラウドビジネス推進部会 活動報告及び活動計画

部会長  
藤田 浩之

## ■ 活動指針

### <目的>

1. クラウドを利活用してビジネスに繋げるための、リアルな情報で 語り合う場を提供する
2. 様々な方法で、実際のクラウドビジネス創出を促進する
3. “ニッポン”発のクラウドビジネス(サムライクラウド)の発展に繋げる

### <活動>

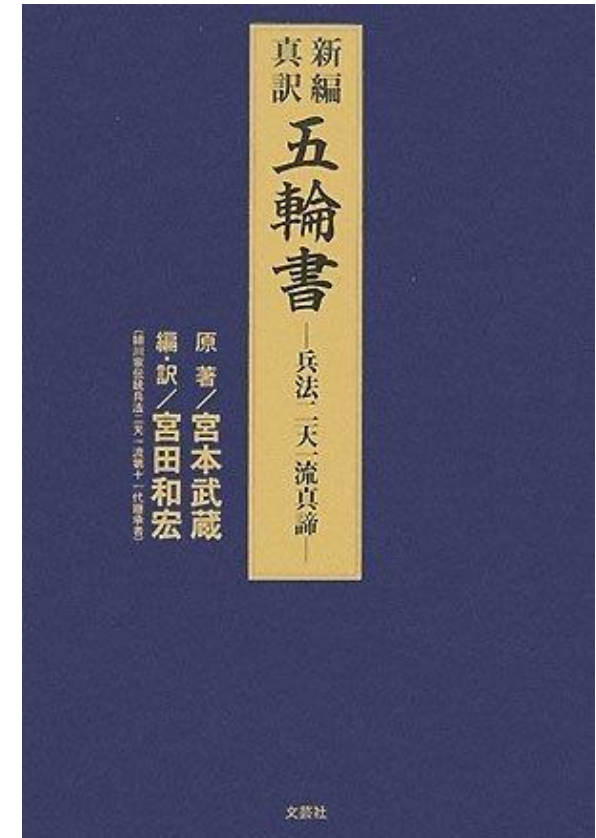
書籍を題材に、クラウドビジネスに役立つ勉強会を開催！

# 2018年度活動報告

## 前期部会

『五輪書』勉強会を開催！

五輪書をアナロジーに、負けない無双のクラウドビジネスを思考する！



★勉強会 推薦図書

文芸社

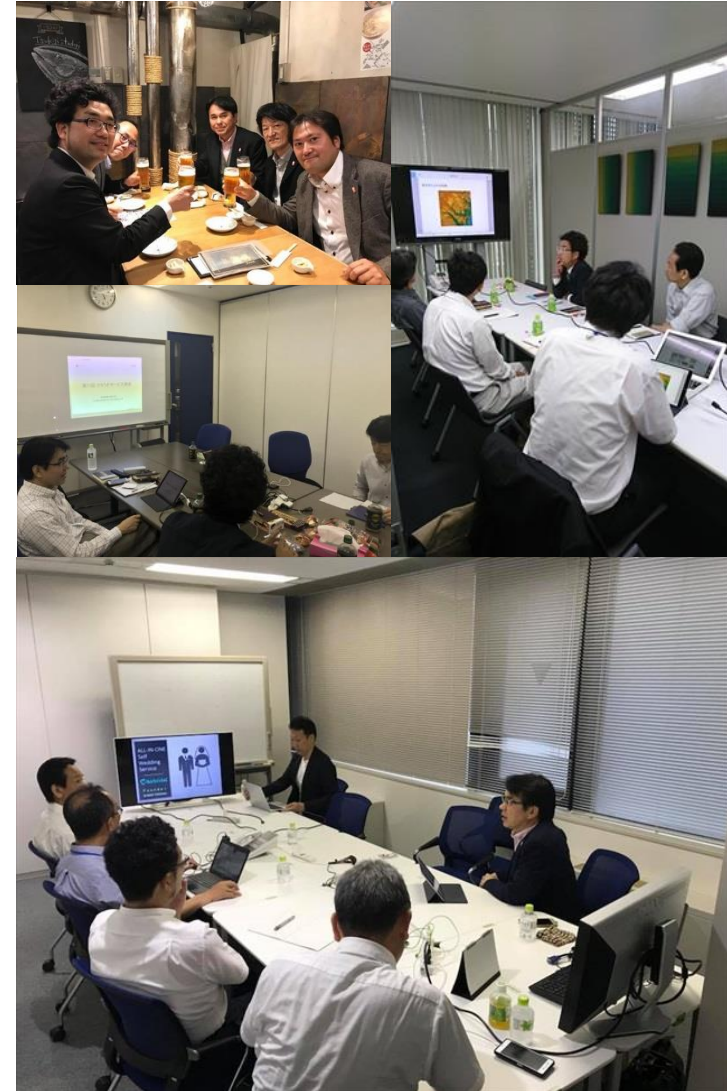
『新編・真説 五輪書-兵法二天一流真諦-』

原著・宮本武蔵／編・訳宮田和宏

(みやもとむさし／みやたかずひろ)

# 『五輪書』勉強会

- 2017年  
11月 『五輪書～地の巻～』
- 2018年  
3月 『五輪書～水の巻～』  
5月 『五輪書～火の巻～』  
7月 『五輪書～風の巻～』  
10月 『五輪書～空の巻～』



# 2019年度活動計画

## 今期部会

テーマ① より深く五輪書を紐解き、そのアナロジーをクラウドビジネスに“活かす！”

引き続き、「五輪書」勉強会ver.2(2周目)を開催

テーマ② あらゆるデータをクラウドビジネスに“活かす！”

今期新テーマとして、ビジネス視点からの『機械学習』を取り上げ、クラウドビジネスへの活用について、**本気で**検討

# 是非部会にご参加ください

# クラウドサービス部会 活動報告及び活動計画

部会長  
小堀 吉伸

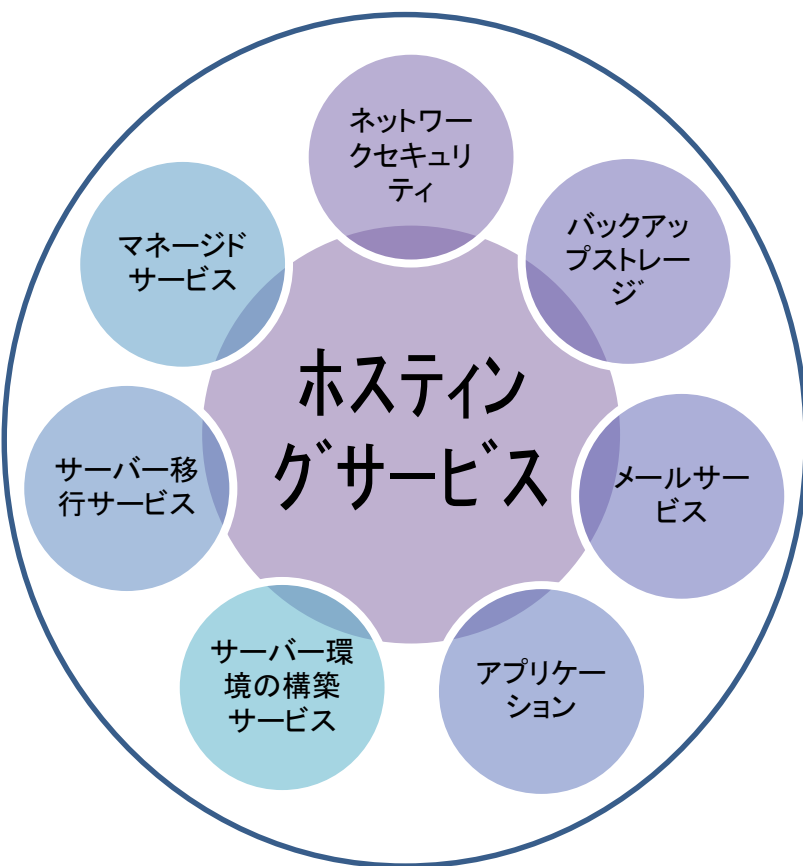
クラウドサービス部会では、  
セオドア・レベットの『ホールプロダクト』の  
概念を軸に、クラウドサービスを多くの顧  
客に利用してもらうためには、  
「備えるべき機能や特徴とは何なのか」  
を技術的な側面ではなく  
「サービス」と「クラウド(サムライクラウド)」  
の視点から考察し、また参加メンバーから  
サービス視点での発表を行っています。



# 2018年度クラウドサービス部会スピーカー

- スリーハンズ株式会社 三土たつおさん
- エアブライダル株式会社 遠山純生さん
- 株式会社オレガ 藤田浩之さん

## 顧客の期待と現実を埋めるプロダクトやサービスとは！



### コアプロダクト:

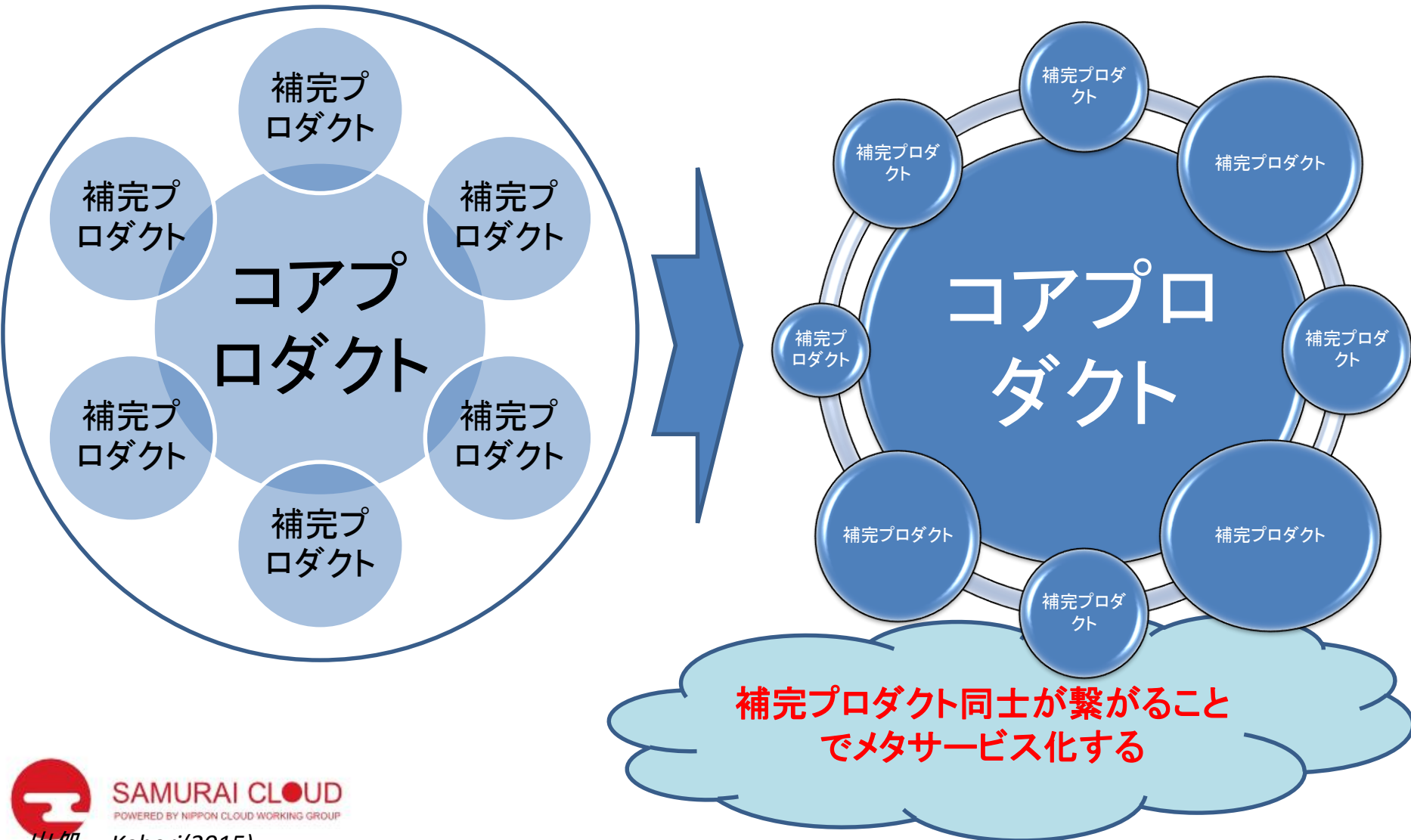
ホスティングやレンタルサーバーをコアプロダクトとして想定した場合

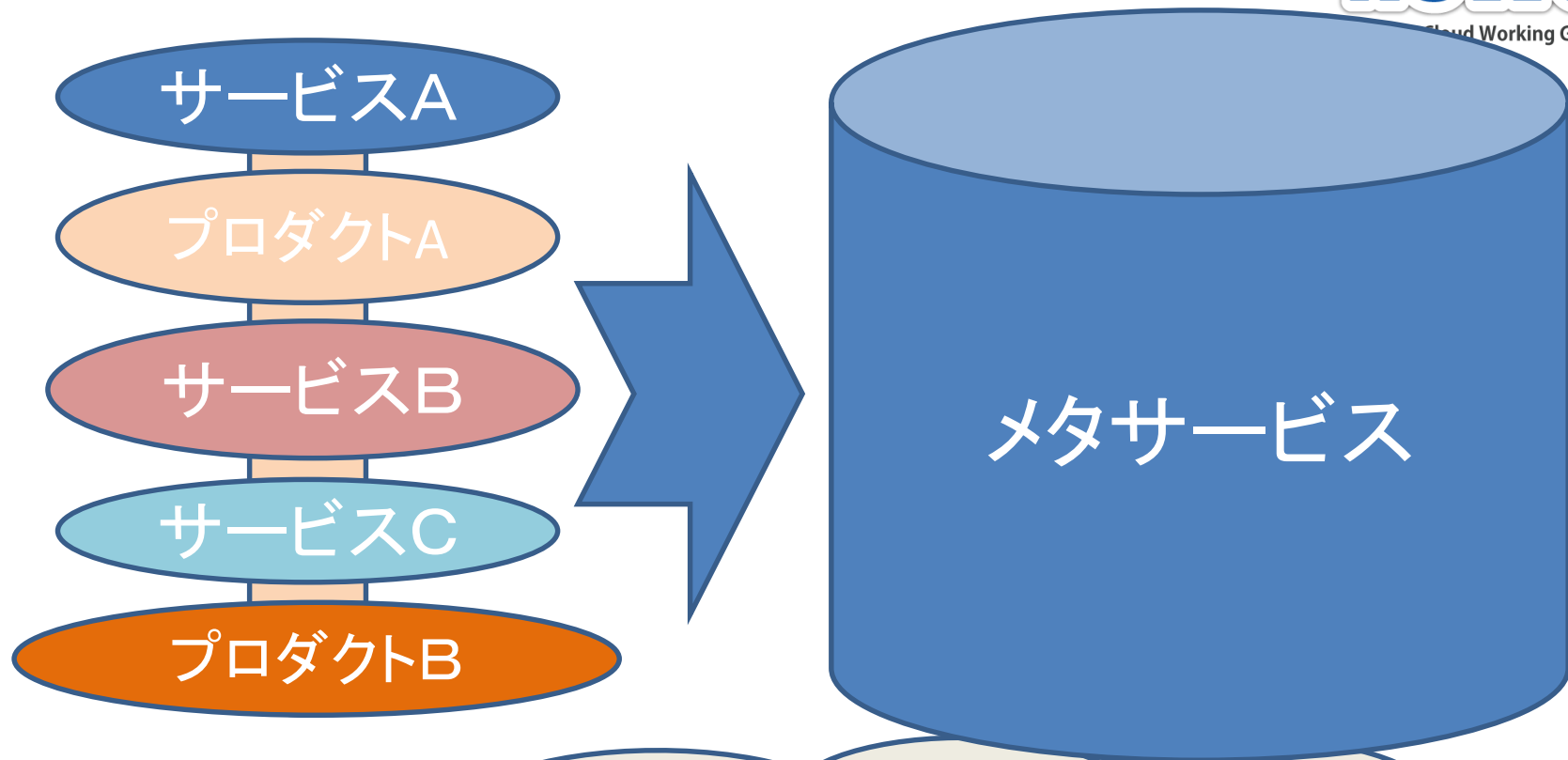
**期待プロダクト:** 顧客の目的を満足させるために最低限必要なプロダクトやサービス

**拡張プロダクト:** コアプロダクトを拡張したもので、顧客の目的を最大限満たすプロダクトやサービス

**理想プロダクト:** 顧客の求めと、提供される機能の理論上の上限

# 顧客の期待と現実を埋めるプロダクトやサービスとは！





メタ的なサービス化ができる面白い！

Service as a Service

さらにメタサービスの考え方を  
深めるために  
生物学をアナロジーに  
メタサービスを検討してみる！

**超個体** (superorganism) とは、  
多数の個体から形成され、まるで一つの個体であるかのように振  
る舞う生物の集団のことである。通常、同種で構成される個体群や  
コロニーをさすが、異種集団を超個体と見なすこともある。



限定的な知能と情報  
しか持たない個体が  
多数集まって、  
個体の能力を超えた  
大きなことを成し遂げ  
るものとされる。



# ゴンズイ型



最大の目的は  
、  
捕食者から逃  
れること！

この手のサー  
ビス群や協業  
形態は、ダメ！

